

2015年度文学部卒業論文題目

【行動科学科】

〈哲学講座〉

- 阿部 翔馬 クオリア問題における還元可能性と物的一元論の検討
井田 直樹 ヴィクトール E. フランクルにおける人生の意味
小笠原 捷 チャーマーズの還元主義批判の現象主義的再構築
渋谷 麻衣 安楽死は尊厳ある死か
鈴木 亮 基礎づけ主義的観点から見たクワインの批判
CHUN SungHoan 理想的な家族とは？—男の育児、離婚、同性婚から考える—
橋本 彩佳 「私的な言語」の可能性を認める『哲学探究』 §§243-272
の—解釈—そもそも「私的言語議論」は何を議論している
のか—
村上 健人 ディスコード化するテクノロジー—契約、市民、潜在的ア
クター—

〈認知情報科学講座〉

- 池田 紘介 ハトの空間探索における独立した複数手がかりの優位性の
検討
上田 寛之 和音聴取時の印象における和音構成音の周波数比の影響及
びモダリティモデルの妥当性の検討
太田 飛鳥 ドットの集合による形態知覚の研究—ハトとヒトの比較—
岡見 俊赳 音節構造から見た音楽の擬音語表現
小川 桃子 ハトの顔刺激探索における倒立効果の検討
勝部 真希 ハトにおけるオブジェクトベースの注意—オブジェクトの
独立性の効果の検討—
楠 麻衣 他者意図の推定による行動決定—円滑な協調行動の実現—
倉橋 和瑚 発話の特徴が「上手さ」の印象と理解度に与える影響
小松 隼基 着座位置の違いによる話者交代の検討

- 白砂 大 問題文と選択肢の双方の知識量に基づく推論
高木 雄太 心理トリガとしての語感の研究
土肥 崇弘 選択における色が及ぼす購買誘導の研究—自動販売機において—
中道 彩 視覚探索課題を用いたハトにおける運動刺激への注意の検討
中村 美緒 CMCにおける多人数会話の話者交替
西 柁耶 落語の役割交替における動作タイミングの分析
西村 秋那 信頼度の変化による行動決定シミュレーション—繰り返し囚人のジレンマゲームを用いて—
松下洸太郎 数理モデルを用いたコンテンツの流行現象としての検討
松村 美緒 文脈が音読に与える影響
保岡 夏姫 Twitterにおける視覚的感情伝達表現

〈心理学講座〉

- 新井 祐里 非近接音の学習に及ぼすクロスモーダル情報の効果
菅野 有香 視覚情報提示による音環境の印象の操作
金 駿 サンクションシステムの変化における手続き的公正の影響及び一般的信頼の調整効果の検討
小池 俊徳 先行刺激提示による注意誘導に呼吸が及ぼす影響
小宮 有実 分散効果を用いた学習方略選択要因の検討
里見 遥香 情報過負荷での意思決定における解釈レベルと自我関与度の効果
末吉はなこ 音楽経験の有無が音楽の印象評定に及ぼす影響
鈴木 峻 gistに基づいた短時間での情景認知における色情報の効果の検討
高橋那津美 情景画像におけるpan-field color現象に色識別性が及ぼす効果
瀧本 琢真 Creativityの測定及びその認知的能力・認知スタイルとの関係の検討
仲宗根 祥 情動体験に伴う鳥肌感の生起頻度における個人差の検討～

Behavioral Activation Systemを指標として～

- 生井 愛莉 学習画像に対する注意の程度の差が虚再認に及ぼす影響
西 美奈子 集団成員の多様性による問題解決パフォーマンスの違い～
制御焦点理論を用いた検討～
- 古河 萌 集団間代理報復への観衆の種類と集団内役割の影響
松田 侑也 視覚探索課題を用いた単純接触効果における検討
宮本 裕美 集団への信頼度及び個人差要因が排斥場面での援助行動に
及ぼす影響
- 三好 正剛 RSVP課題を用いた見落とし頻度における上下視野間の非
対称性の検討
- 山添 花実 不自然さ等の諸要因が映像の持続時間知覚に与える影響の
検討
- 山田浩一朗 運動-感覚間時間的再校正についての同時性判断課題を用
いた検討

〈社会学講座〉

- 石山 大 麻雀の社会学—麻雀をめぐる2方向の社会問題—
板橋 成美 「商品」を住み慣らす—千葉市稲毛区の団地型分譲マンシ
ョン 40年の生活の歴史より—
- 今井 崇仁 監視社会とその社会的受容について
浦井 都子 ダイエットの社会学—ダイエットを煽る文化とやせ願望—
大澤 弘毅 現代日本における公共性の構造転換について—メディアの
展開と災害時の公共性—
- 上谷ひかり 千葉大生の母娘関係における自立
栞原 晴香 「ブラック企業」という言葉の使われ方
小島 優大 「嵐」の社会学—「嵐」は何故国民的アイドルになれたの
か—
- 後藤 優美 「おみやげ」の記号作用—空間・場所・差異化—
澤山 翔子 安全・安心のまちづくり—浦安市の元町・中町・新町の防
犯活動の視点から—
- 篠原 美咲 “カワイイ文化”とその実態

- 白井 真奈 J-POPの歌詞と恋愛観
杉田 生磨 高齢社会で特有に機能する不安緩和の戦略
関谷 夏美 女性の高機能自閉症・アスペルガー症候群について
苦米地えり 地域らしさはどのようにつくられるか—「水の都・三島」
の復活の活動を事例に—
貫 めぐみ クチコミと情報社会
橋詰清志郎 平成仮面ライダーにおける正義の分析について—「仮面ラ
イダー555」から見る正義のあり方—
林 宗俊 英会話スクール広告に見られる英語学習目的のジェンダー
差
開 桜子 人々にとっての「インターネット」の変化
藤川 聖久 現代日本社会における寺院の役割について—関東三寺の取
り組み—
丸山 瑞穂 面前DVをリバイブする—被害、サバイブ、その先へ—
森山 健 ナシ婚は本当に“無し”なのか

〈文化人類学講座〉

- 伊藤あすか 住宅に囲まれた農地—都市農家の生業選択—
奥村 実穂 セクシャル・マイノリティの「問題」とは何か—社会的規
範の二項対立を再考する—
岸 沙谷菜 日本の昆虫食分布—都内アンテナショップと東北・関東甲
信越地方の道の駅調査から—
金城 敦乃 「まなざし」の社会—ホモソーシャルな野球観戦の場にお
ける「カープ女子」への視線—
佐藤 友紀 老いを走る人々—スポーツジムにおける高齢者の自己と身
体—
滝田 恭子 アルコール依存症という「病気」
田付 まゆ 支援と贈与—フードバンクの事例から—
人見 悠大 手作り市的人类学—現代日本のアジュールにみる贈与と商売
の境界にある行為—
山内 実 タトゥーと生きる人びと—現代タトゥーの考察—

劉 駿超 実践の視点から見る日本語教育機関機能を果たしている専門学校—早稲田 外国人留学生 つながり—

【史学科】

- 浅野 広樹 森鷗外の「黄禍論」への意識—『黄禍論梗概』の考察から—
浅見 和穂 公娼制度成立から売春防止法施行までに見る女性と労働
天羽 洗介 江戸の町火消制度における人足頭取任命の意義について—
店人足から鳶人足への移行との関連から—
石島 秀哉 大坂落人に対する幕府の対策と方向性—元和年間において—
井面早由里 16世紀イスタンブール・ウスキュダル地区における奴隷使用の様相
大野 彩奈 千葉県における形象埴輪配列の様相
大橋 竜也 武士道と日本人の精神史について
河合 勇佑 雲南回民反乱に見る清末回民社会
河太 直樹 「古代」ブリテン諸島におけるキリスト教と「ウイスキー」製造技術との関係—アイルランド島を中心として—
北岡佑佳子 明治時代の日本における文化遺産保護の性格
久保 沙織 ベラスケス第一次イタリア旅行（1629-1631）における変化と維持
小嶋 捷平 竹内好を現代でどう生かすか
小谷 慧 穢観念の変遷 鎌倉後期の牛馬処理を中心に
後藤 啓輔 オスマン帝国末期の「福祉の複合体」的救貧—イギリス史との比較における—
小林 巧 19世紀イギリス風景画に見る気候変動の影響—ターナーを中心として—
小林 美幸 19世紀オスマン帝国におけるマフムート2世紀の近代化政策—1826年、イエニチェリ廃止と地方の反響
小宮山晴希 流行歌の歌詞と心情の変化
佐々木綾菜 19世紀後半ロシア絵画におけるイコンの象徴性—イリヤ・レーピン《クールスク県の十字架行進》を中心に—

- 佐藤 真綾 『青方文書』にみる平安末期から鎌倉末期の松浦地方の生活
白田 容子 ベルニーニの劇場型空間の演出と宗教的效果について—サ
ン・ピエトロ広場を中心に—
- 瀬戸 康寛 二輪車産業から見たベトナムの工業化の変化
高橋 里奈 明治時代における日本人女性の洋装に関して—表象からの
分析を中心に—
- 高畑 悠 数値分析からみる新選組の吸引力—新選組が保持し続けた
地域的・身分的多様性の変遷—
- 田嶋 彩乃 八戸藩の文政改革における殖産政策
月井 一希 ベトナム戦争の転換点とウォルター・クロンカイト
土井 昭穂 ロココ美術の画家フラゴナール—風景表現に着目して—
徳田優理子 三河島地区における開発の変遷と現在の再開発の課題
土肥 幸子 縄文時代中・後期の千葉県における子どもの埋葬について
内藤 里奈 伝統的モチーフからみる「一角獣を伴った貴婦人」の獅子
の機能
- 中港信之介 20世紀ニューヨーク市被服産業における革新主義運動の
役割と意義—衛生統制合同委員会による産業民主主義の実
現と移民労働者の教化—
- 平井美寿希 イタリア自由主義期における移民とナショナル・アイデン
ティティの関係
- 福山 貴弘 11世紀のパレンシア君主エル・シッドの人物像—キリス
ト教徒及びイスラム教徒側の史料に基づく再検討—
- 藤井 優規 千葉県における古墳時代後期の副葬品の鉄刀
藤巻 正慶 魚棚公事相論と山科言継を支えた人々—『言継卿記』を中
心に—
- 宮永眞保子 絵巻の時間表現—信貴山縁起絵巻飛倉巻、尼公巻を中心
に—
- 村上 夕陽 太平洋戦争下における女性像と婦人雑誌『主婦之友』が果
たした役割—『主婦之友』における懸賞応募の内容を中心
に—
- 矢部 智之 千葉県における軍隊と地域

油座俊太郎 戦後日本における原発誘致と地域社会 新潟県巻町を事例
に

【日本文化学科】

- 赤坂利里奈 異類婚姻譚の文学史
赤塚アンドレア 日本在住日系ペルー人2世の日本語学習ストラテジー調
査—ネットワークと経歴に焦点を当てて—
今市 瑛美 観光資源としての「食」～熊本県での「食」のPR～
大野 千輝 佐藤さとの『コロボックル』シリーズにおけるファンタジー
と現実
小倉 真菜 接尾辞「ぼい」について
小原香菜子 日本語学習者の接続表現の使用について
風間 優菜 アイヌのシカ送り—シカをおろす神は誰か—
金澤 佑依 『安愚楽鍋』攷—その写実性について—
川池 美季 年越しの食習慣—年越しそばを中心に—
河村 茜 日本語における周辺的な他動詞文をめぐって
黒瀬 哉子 館山市における祭礼について
小林 裕太 格助詞カラの研究—近世後期と近代を比較して—
小林由希菜 民間伝承における「山の神」—上州の民話を中心に—
坂中 謙太 翻訳文学作品における三人称代名詞の使用傾向について—
欧文脈的要素の検討から—
芹沢 美空 『桜姫全伝曙草紙』考—『桜ひめ筆の再咲』との比較から—
全 智亜人 星新一試論
高吉 容子 漁村の女性の暮らしと子安講—銚子市外川町を中心に—
田淵 幸恵 説話にあらわれる鬼
中島 友恵 千葉県銚子市外川町のキンメダイ漁における後継者課題
中津川 蛍 漁村地域と遊漁船行—千葉県銚子市外川町を事例として—
蓮沼 莉奈 福島県郡山市方言における文末表現バイについて
長谷川崇仁 ミステリとして見た『ゴールデンランパー』の特異性につ
いて
平岡 美咲 特攻隊における「死」—島尾敏雄『魚雷艇学生』—

- 福田 紘生 新敬語「ス」について—イメージ調査をもとにして—
星野 達郎 神饌を提供する意義—香取神宮大饗祭で提供される神饌の特徴と変遷—
- 松浦 悠人 吉野の歴史～スポーツヘルスツーリズムが作る新しい吉野像～
- 松崎 理子 「かごめかごめ」考—柳田國男の口寄せ説を中心に—
緑川 晴香 文学における蛇—蛇と執着の関係を中心に—
宮下 陽介 「無助詞」について
村松 愛莉 小さ子譚の諸相
安井麻里子 『近世説美少年録』私論—善少年の命名—
安本 有紗 漢語名詞の副詞的用法について—「基本」「基本的に」「基本的には」の違いを中心に—
渡辺 祐子 接頭辞に関する通時的研究—副詞性接頭辞の使用の変化—

【国際言語文化学科】

- 熱田 有梨 *Hiroshima mon amour*における視線と記憶
荒井 美穂 『天井桟敷の人々』における沈黙と饒舌
石川 幸世 意味構造の日西対照研究
石原 律子 ドイツの移民統合政策について
石丸 華子 日独のスポーツヒーロー像の比較—サッカー誌を中心に—
稲葉シンジ グスタフ・クルーツィス—20世紀前半のロシア社会の理想と現実をどう見たか—
- 小川 萌 スペイン語における敬語表現とその使用状況
賈 雯 茜 中国の西部の農村における女子教育の現状と分析
神山 穂 The Acquisition of Passive Structures: Maturation vs. Continuity
- 神門 有海 ソーシャル・ファーム、グリーンケアから見る障がい者就労可能性
- 熊田 真弓 Combinations of English Suffixes
齊藤 上総 1960-70年代ソ連映画における住宅問題の表象
坂本 美遥 スペインとウォルト・ディズニー

- 左藤 香居 1960～80年代のソ連文化における宇宙開発の表象
佐藤 由奈 文学翻訳におけるカタカナ語の分析—『ウィルヘルム・マイスターの就業時代』を題材として—
- 佐藤優芽奈 スペイン語の諺からみる地域性、国民性
丁 昭 静 韓国の元日本軍「慰安婦」と絵本『꽃할머니 (コッハルモニ) (花おばあさん)』の考察
- 関 祐美 ロスト・ジェネレーションと1920年代アメリカ、フランス社会
- 高橋 桜良 Orientalism in the Representations of Japanese and Robots in Hollywood Movies
- 高橋 剛一 The Constituency and Category of “Small Clauses”
竹谷 恵美 ホスピタリティに関する多角的考察—言語的・歴史的・社会的視点から
- 立花奈穂子 在日コリアンの言語意識と言語使用—在日コリアンの在日朝鮮語使用の分析を中心に—
- 玉城 莉南 アルフォンス・ドーデ『最後の授業』について
戸澤 楓 バレエ『ジゼル』におけるドイツロマン主義
中村 仁美 ウラジーミル・ナボコフと1920年代～30年代亡命文学
中山 亮 An Analysis of Themes and Continuity in Concept Albums and Rock Operas
- 中山みのり Racial, Ethnic, and Gender Biases in Disney Princess Movies
- 長谷川愛依 『エル・スール』(El sur)における対比
長谷川裕美 スペイン内戦の記憶
原 愛美 ケベックでの移動文学とアキ・シマザキ
平松あさひ 北欧モダンデザインを考える—見た目だけではない、社会を「デザイン」するデザイン
- 平松 早織 アルベール・カミュ *L'étranger* における象徴的「母殺し」について
- 古矢 健友 独英の形容詞における語義の歴史的変遷
柳澤 優花 接触場面における日本語母語話者のフォリナー・トーク使

- 用の実態—外来性の管理に着目して—
山上 奈緒 19世紀フランス女性の女性性について
- 山崎 美紀 異文化接触経験が母語話者の参加調整に与える影響—接触
経験の異なる母語話者に着目して—
- 山田 真紀 B・シュリンク『朗読者』に描かれる麻痺